

# 常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 5月 20日(金)

その3 通算 230号

## ◇ 今、最も美しい学校の花 体育館東の「カルミア」

体育館東でひっそりと花を咲かせた、今、最も輝いている花「カルミア」の紹介。



ウィキペディア  
フリー百科事典 等より引用

### <カルミア>

属：ツツジ科

原産：北アメリカ

#### 命名の由来

・収集した植物学者  
ペール・カルムより命名

日本名：西洋シャクナゲ  
アメリカシャクナゲ

花言葉：優美な女性  
大きな希望

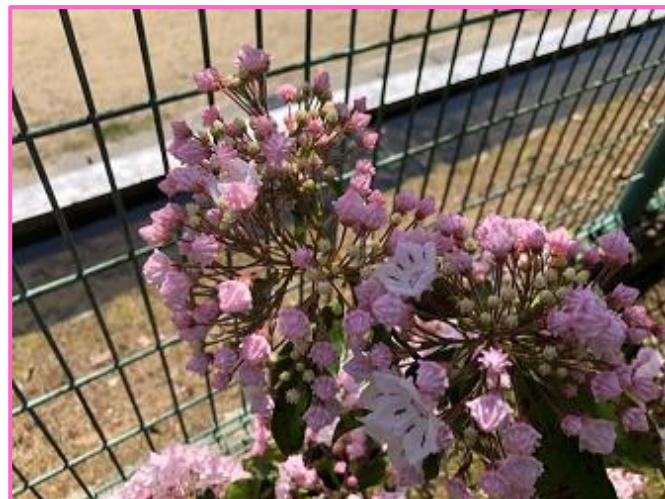
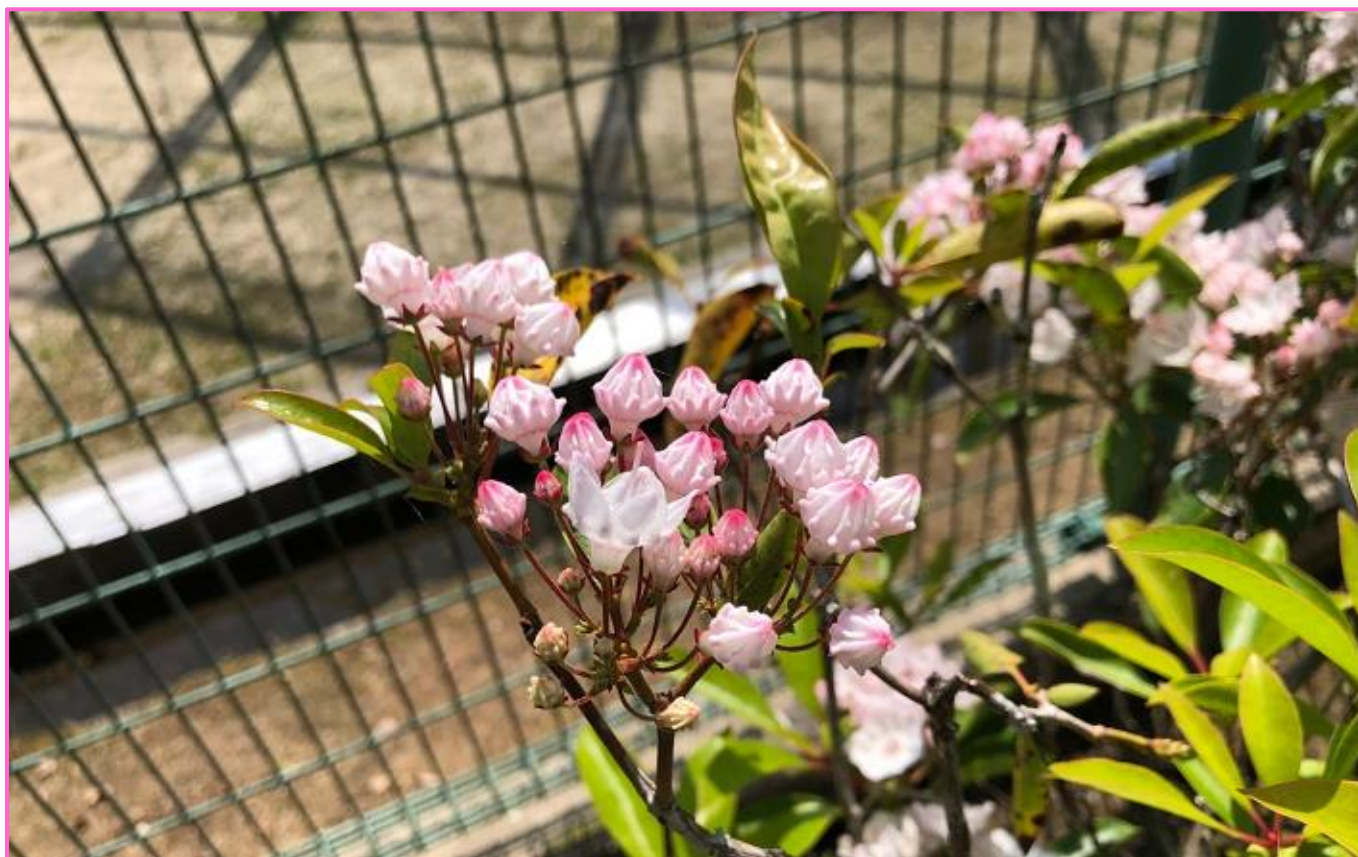
27代校長 三浦倫夫 先生からお伺いした話では、先生の在職中に緑化日本一に向けて定植された樹木のひとつ。当時は8本ほどあったが、現存は2本のみ。日差しに弱く、管理も難しい花で、日陰の多い現存地でも厳しかったようだ。

ツツジ科に属し、日本名は「<sup>セイヨウシャクナゲ</sup>西洋石楠花」。「アメリカシャクナゲ」とも言われるのは、日本に入ってきたのがアメリカからの贈り物であったことによる。

日本が「桜」をアメリカに贈ったお返しとして「カルミア」が贈られた。同じ桜色の花を選ぶとは、アメリカも粋なことをする。

花言葉は「優美な女性」。なるほど、雄しべを下にすれば、女性の傘のように見える。

蕾は、色も形も「金平糖」のようである。花も蕾も品がある。



「カルミア」の見頃は、6月まで。全校体育で来校の際は、一見をお勧めする。